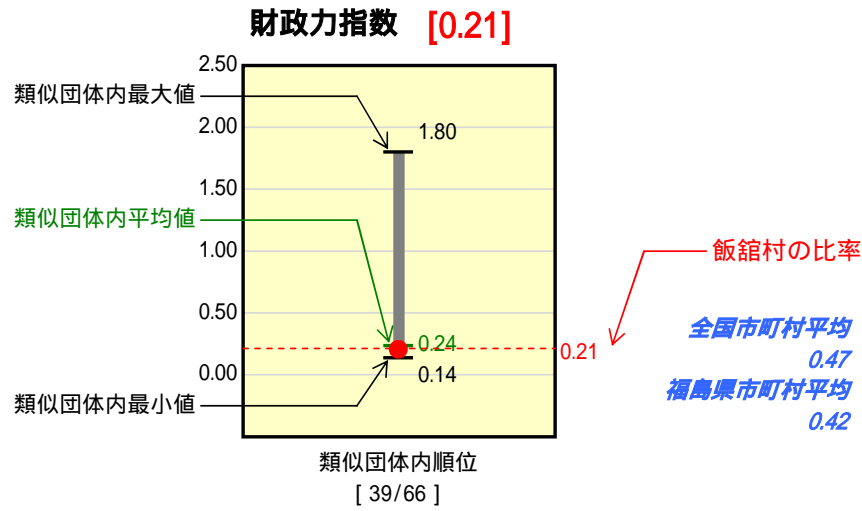


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

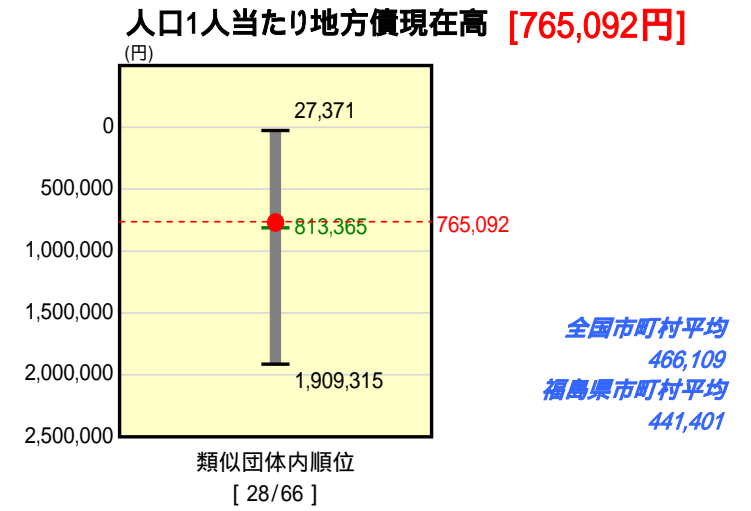
福島県 飯舘村

人口	7,121 人(H17.3.31現在)
面積	230.13 km ²
歳入総額	4,710,615 千円
歳出総額	4,508,896 千円
実質収支	188,919 千円

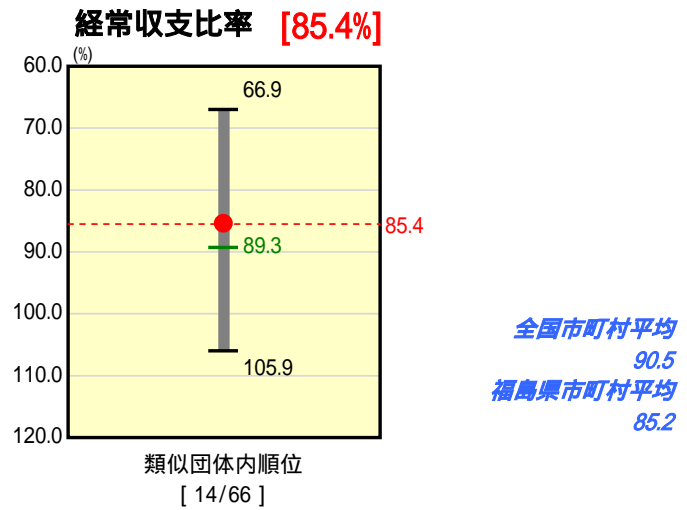
財政力



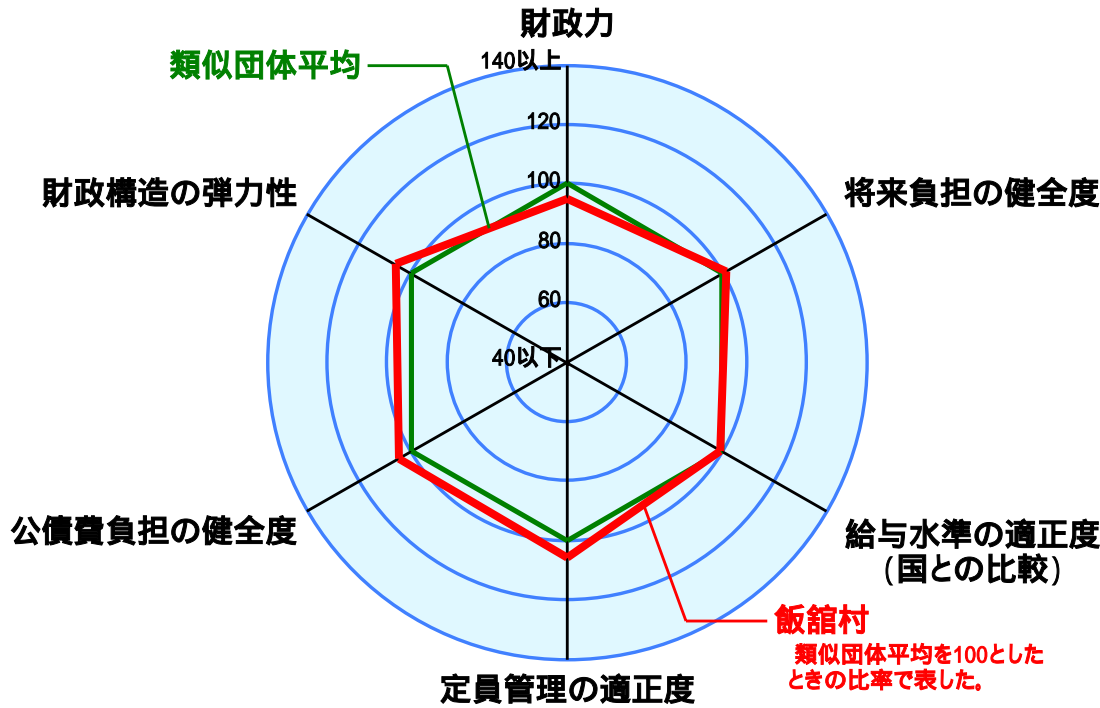
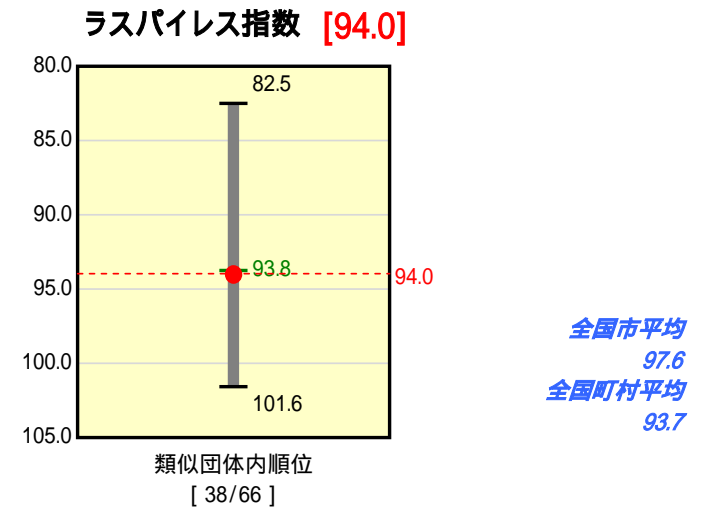
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

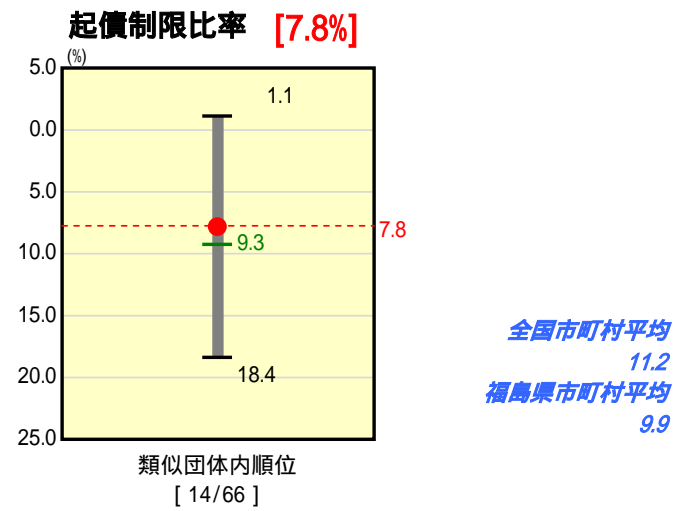


給与水準の適正度(国との比較)

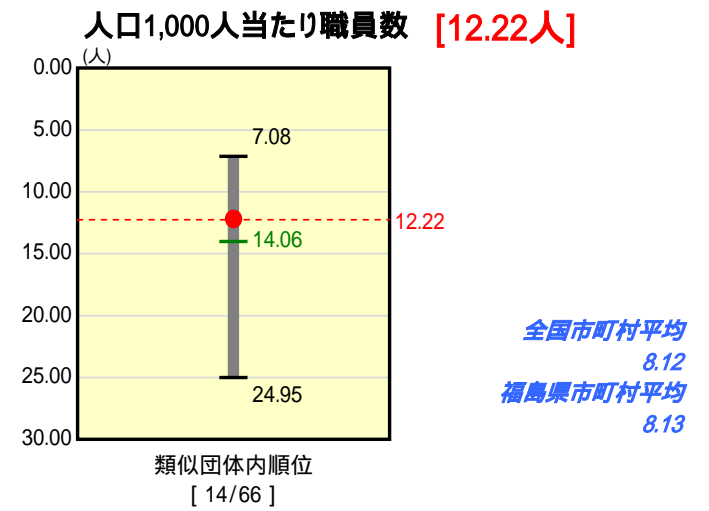


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数 : 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(16年度26.7%)に加え、農業が基幹産業であり工場の立地も進まない状況等により、財政基盤が弱く、類似団体を下回っている。「村独自の自立プラン」に沿った行財政改革と施策の重点化を推進し、健全財政を維持しつつ活力ある村づくりに取り組む。

経常収支比率 : 総務省通知による定員適正化計画(16年2月策定)に基づく職員数の抑制(定数 15人)及び過疎債、辺地債などの優良債の活用に努めており類似団体平均を3.9ポイント下回っている。今後も引き続き定員管理の徹底、物件費、補助費等の経常経費の抑制を進め、健全財政の維持に努める。

ラスパイレス指数 : 平成11年度に退職時特別昇給の是正(最高3号 2号)、12年度に公用車運転手当、給食センター手当を廃止し、給与の適正化に努めており、ほぼ全国平均の数値となっている。今後も村独自の自立プランに沿って、総人件費の抑制(目標:10年間で職員30人減員)に努める。

起債制限比率 : 過去からの起債抑制策及び過疎債、辺地債等の優良債の借入れに努めており類似団体平均を1.5ポイント下回っている。今後は年間の地方債発行総額を3億円程度に制限し、引き続き水準を抑える。

人口1人当たり地方債現在高:平成15年度に小学校大規模改修事業、特別養護老人ホーム増設事業等の大規模事業により、1,526百万円の地方債を発行したが、過去の起債抑制策等により現在のところ類似団体を下回っている。今後は大規模事業の整理を図るなど、類似団体を上回ることを目指す。

人口1000人当たり職員数:定員適正化計画に基づく職員数の抑制により、類似団体を1.84人下回っている。平成18年度に機構改革を行い組織機構の簡素化(6課制 3課程度)を進める他、指定管理者制度等の活用による外部委託業務の拡大等により、平成20年度までに80人程度(平成16年度95人)まで削減を進める。